

DX 推進への取り組み

DXとは

DX は、デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation) の略です。「DT」ではなく「DX」と表記されるのは、英語圏では交差するという意味を持つ「trans」を「X」と略すことがあるためといわれています。DX という言葉を最初に用いたのは、スウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授です。2004 年に発表した論文の中で同氏は、DX について「IT の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」と記述しています。

当社はDX (Digital Transformation) 化を積極的に進めていきます。

1. 経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性

経済産業省は、2018 年 12 月に発表した「デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン (DX 推進ガイドライン) Ver. 1.0」において、DX を下記のように定義しています。

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」

DX とは、データとデジタル技術によって商品やビジネス、業務、企業文化等の変革を成し遂げるものであり、その目的は競争力の維持・獲得・強化を果たすことにあります。

当社はこのことを強く認識し、DX を活用した会社運営を目指します。

2. 経営及びデジタル技術等の活用の具体的な方策 (戦略)

歯科の世界でもデジタルを活用した様々な医療機器が開発されています。

当社ではそれらをいち早く採り入れ、精密で迅速な歯科コンサルを目指します。

今後は最新の口腔内スキャナーを導入して矯正治療診断を行っていく予定です。

3. 戦略を効果的に進めるための体制の提示

デジタル技術を活用した矯正治療診断を推進していくための体制を整えます。代表取締役である浅井佳代自ら CIO（最高情報責任者）を務め、また適任者を DX 推進者として任命します。今後は社内での研修・教育も積極的に実施していく予定です。